



～第2回進路講話～

亜蘭先輩、頑張ってます！！

14日（金）の総合・LHでは、「北村塗装店とは一就職への道一」と題した第2回進路講演を実施しました。講師には、社長の北村隆政さんと社員の大崎亜蘭さんを迎えました。大崎さんは、本校の卒業生で入社2年目です。



北村隆政さん

講演は、北村社長さんからパワーポイントを使って、『仕事を通じて地域社会発展に貢献する』経営理念や経営方針を交えた会社の紹介をしていただきました。「北村塗装店は、塗装ひとすじに歩んできた会社で、大正元年創業で100年以上の歴史があり、『信頼できるプロの仕事』を提供しています。建物は10～15年で塗り替えるため塗装の仕事がなくなることはありません。土佐市民病院、イオン、かるぽーとなど、聞けばすぐわかる建物を塗装しています。塗装はキャリアアップできる仕事で、一級塗装技能士の国家資格を取れば、日本全国どこでも仕事ができます。社員の年収

は平均450万円、30年以上働くと退職金は500万円以上出ます。作業現場の安全には注意しています。事故や災害は無く、男女でトイレが分かれています。会社で大切にしているものは、『家族・仲間』です。良い仕事をするとお客様からありがとうと言ってもらえる上にお金ももらえることが仕事のだいご味です。」と話してくれました。

続いて、亜蘭君から話をさせていただきました。

「建築関係の仕事がしたかったです。現場（オーテピア）を見て、百人以上が働いていて、その中で塗装しているところを見て、自分も大きな現場で働きたいと思いました。働きながら資格が取れることは、自分にとって一番大事なことです。資格を取ることは難しいです（1級は実務経験7年以上）、日々現場で技術を身に付けて1級を取って、さらに大きな現場で働いて一生残る建物で仕事をしたいです。いろんな業種がありますが、資格を取りながら



仕事ができるのがよいと思います。会社は仕事以外の場面でも良くしてくれます（フットサル）。仕事で日々怒られるのは当たり前で、難しい事は聞けばちゃんと教えてくれる学べる環境なので、自分がどれだけ頑張れるかだと思います。次の現場は土佐市の複合施設です、教えてもらいながら、自分もここでの仕事に関れたと言えるようになりたいです。」と、みなさんが進路を考える上で大切な話をしてくれました。

亜蘭君への質問と答えをいくつか紹介します。

Q 入社して苦労したことは？

A 思った以上に身体を動かすことです。

Q 高校生の今、しておけばよいことは？

A 大切なのは、いくらしんどくても毎日学校に出ること。先生と話すこと。4年生の授業では、マンツーマンで面接指導をしてくれました。

Q 仕事を続ける上での人間関係は？

A 優しいだけでなく、仕事で怒ってくれることも大切だと思います。

Q 怒られることを冷静に受け止められたのは？

A 自分のことを思って怒ってくれているからです、自分もなぜ怒られたのか考えて次に進みたい、ミスをしないようにしっかりと吸収したいです。

Q 卒業したときと今は変わって見えますが、どう変わりましたか？

A 最近結婚して、2週間前に子どもが産まれました。妻子を大切にしたい、そのために仕事を頑張りたいとの気持ちが強くなりました。

【みなさんの感想】

- ・自分のしたいことをきちんと考えてそれに向けて色々調べたりしていて大崎さんはすごいと思いました。家族のためにもがんばっていることがわかりました。
- ・どんな職業に就きたいかなかなか決まりませんが、先輩に怒られたりしながらもがんばろうと思える職業に就きたいです。
- ・北村さんの社長としての経営理念の強さ、亜蘭さんの塗装に対する熱意を感じました。自分も今の夢に対して真剣に取り組みたいです。
- ・自分のやりたい事が決まっていて、その上で実際の現場を見学しに行ったのはすごいと思いました。2年前に卒業式の時、在校生の皆で送り出した亜蘭くんとは思えない程、良い意味で変わったな、と思いました。働きながら技術を身につけて資格をとるためにがんばっている先輩のお話をきいてもう少しこの道（いまの仕事）を続けていこうと思いました。
- ・塗装に少し興味がある自分は少し行ってみたいという気持ちになりました。働きながら資格をとれるので、先の事も色々楽しみにして働けそうだと思います。
- ・今日の講演を聞いていろいろと参考になった。
- ・大崎さんや北村さんの話を聞いて、塗装に対する考えが変わりました。「この建物、自分が塗ったがで。」と言えるのはものすごく良いことだと思います。



堂々した姿で話をする亜蘭先輩